

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス じゃんぱ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 30日		2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○従業者評価実施期間	2026年 1月 30日		2026年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の不安や悩みなどの相談事に真摯に対応していること	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からのSOSを見逃さないよう職員指導を行っている。 日頃の声掛け等により相談しやすい環境づくりに気を配っている。 保護者の急な相談事に対して職員間でフォローし合う体制ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も保護者の様子や利用児童の様子の変化を見逃さないよう心がける。 不安や悩みなどについては対応職員だけではなくゼbb職員がフォローし合いながら問題解決に繋がるよう努める。
2	子どものありのままの姿を保護者に丁寧に伝えようと努めている	<ul style="list-style-type: none"> 利用児童の良い点、課題等について具体的に伝えることで今後の療育の方向性を検討する機会を多く設けている。 子どもの変化に迅速に対応できるように、細かいことも保護者へ報告するよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達に関して定説にアセスメントしながら、保護者との信頼関係の構築に努める。
3	職員間の情報共有がしっかり行われていること	<ul style="list-style-type: none"> 情報共有の徹底を図っている。 小さなことでも報告し合いながら全員で状況を確認できる体制を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告・連絡・相談の徹底を今後も継続して行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との積極的な交流について	<ul style="list-style-type: none"> 保護者のニーズに差がある。 将来的に地域で活動できるように療育を行ってほしいとのニーズが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象児童、保護者の意向を確認しながら進められるような体制の構築を検討していく。
2	保護者に対する定期的な研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> 保護者のニーズに差がある。 研修開催に際して、実施できる人員に限りがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象児童、保護者の意向を確認しながら進められるような体制の構築を検討していく。
3			